なぜキャリア教育を　変えないといけないの？
個々の発達を踏まえ　たキャリア教育って何？

日常の生活でキャリア教育なんてできるの？

そんな疑問をおもちの先生方も少なくないでしょう。しかし，先生方は日頃，子供たちと接する中で，例えばこのような対応をしていないでしょうか。

子供　「みんなすごいです。Aさんはバスケットボール関連の仕事，Bさんは幼稚園の先生が目標らしいんです。僕にも何となく夢はあるのですが，いろいろあって，はっきり決まらなくて，自信がもてません。」

先生　「そうなの。ところで，夢や目標ってはっきり決まっていないと駄目なの？夢や目標は変わっていっちゃいけないのかな？」

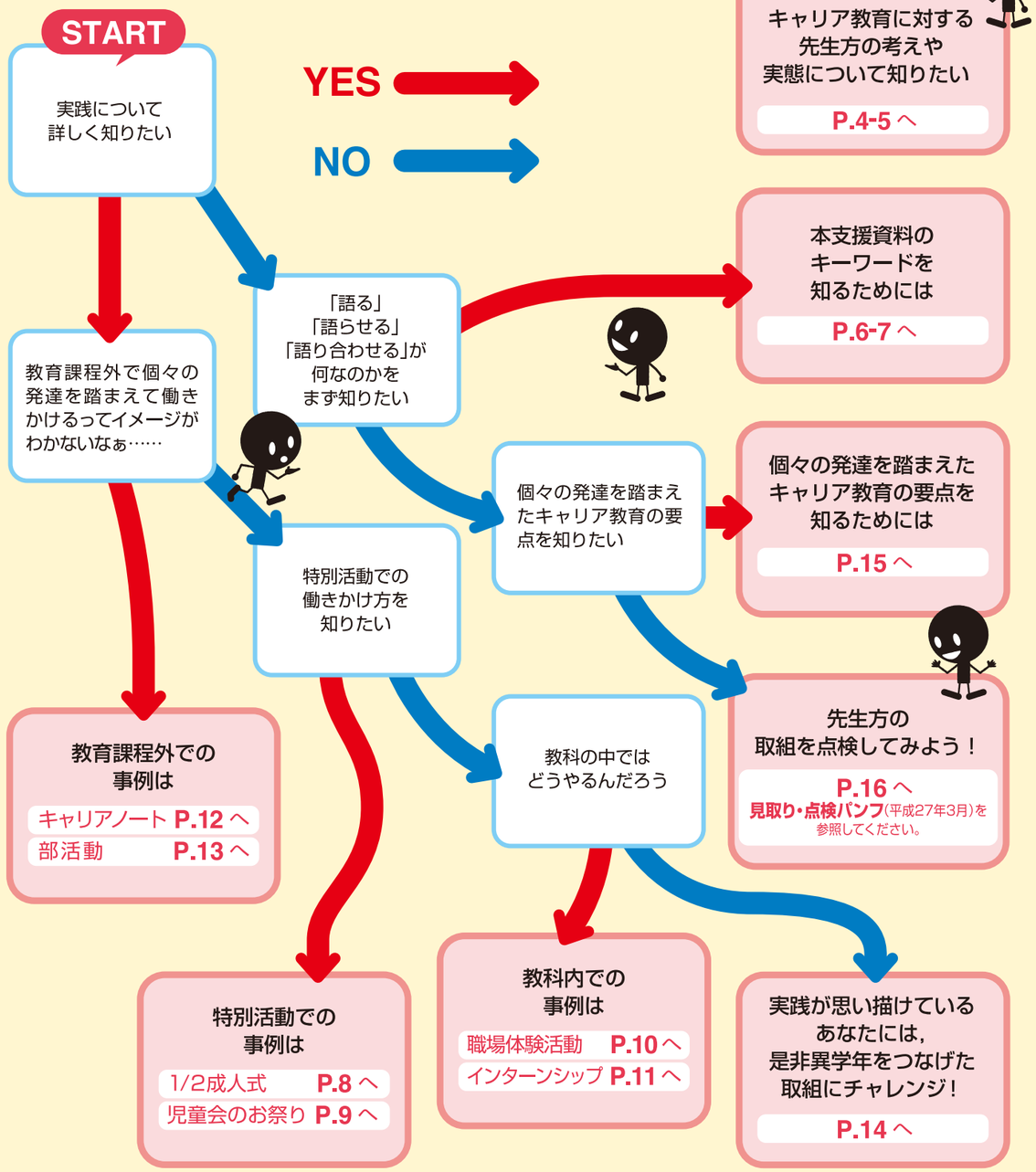
「明確な目標を決められず自信がもてない」という高校生の現状を踏まえ，夢や目標は発達や経験によって変わることがあってもかまわないことを気付かせようと意図した対話です。こういった働きかけが，個々の発達を踏まえたキャリア教育です。

このように考えると，日々の学校生活や教科等の授業，体験活動，行事を経験する中で，その子なりに学んだことや考えたこと等の積み重なりに着目することが大切ではないでしょうか。一人一人異なる積み重なりを意識しつつ，まだ言葉や文章になっていない子供たちの気付きを言語化できるように支援することが，個々の発達を踏まえたキャリア教育を行っていく上でのポイントになります。

本支援資料では，意図的な働きかけである，先生方が「語る」，子供に「語らせる」，子供たちに「語り合わせる」をキーワードに，個々の発達を踏まえたキャリア教育について解説します。

※キャリア教育とは……

「一人一人の社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して，キャリア発達を促す教育」のことを指します。（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成23年1月31日））。子供たちが将来，社会の中で自分の役割を果たし，自分らしい生き方を実現するための力を身に付けさせるべく日々の教育活動を展開することこそがキャリア教育です。

したがって，教育活動内にある，子供たちのキャリア発達を促すのに有効な諸要素―学習内容や指導方法，生活・学習習慣，体験的な活動―を意図的に相互につなげながら，学校の教育活動全体で進められるものです。

～個々の発達を踏まえたキャリア教育について知るために～